

2019 年度 後期

留学生教育・支援センター

【上級Ⅱ】シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級Ⅱ 総合 A	木 1・2	冨田	... 1
上級Ⅱ 総合 B	火 1・2	中村	... 2
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 3

2019年度 後期	曜日・校時	木曜日・1、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅱ総合A			
担当教員名	刃田美有紀	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本人が使っている日本語について多角的にみることにより、日本語でのコミュニケーションについて理解を深める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
地域差、世代差、性差などによる言葉遣いの違いはどの言語にもありますが、話をするための前提や会話の進め方などは言語で異なります。この授業では、日本語が使われている状況や背景を知ることにより、その日本語を使う（あるいは使わない）ことについて、グループ活動や個人作業で考えます。				
第1週	10/3	オリエンテーション、第1章 社会言語学とはなにか		
第2週	10/10	第3章 言語のバリエーション 2 地域方言とはなにか		
第3週	10/17	第3章 言語のバリエーション 3 社会方言とはなにか		
第4週	10/24	第3章 言語のバリエーション 5 ジェンダーと言語		
第5週	10/31	第3章 言語のバリエーション 6 年齢と言語		
第6週	11/7	第3章 言語のバリエーション 1 ウィリアム・ラボフの古典的研究		
第7週	11/14	第3章 理解チェックテスト		
第8週	11/21	第4章 言語とコンテキスト 2 スピーチ・アコモデーション		
第9週	11/28	第4章 言語とコンテキスト 3 ポライトネス・ストラテジー		
第10週	12/5	第4章 言語とコンテキスト 3 ポライトネス・ストラテジー		
第11週	12/12	第4章 言語とコンテキスト 4 力と仲間意識		
第12週	12/19	第4章 言語とコンテキスト 1 オーディエンス・デザイン		
第13週	1/9	第4章 理解チェックテスト		
第14週	1/16	第5章 社会言語学とその周辺 4 異文化間コミュニケーション		
第15週	1/23	第5章 社会言語学とその周辺 4 異文化間コミュニケーション		
教科書・教材等	『社会言語学入門』 東照二 著、研究社			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 5%、グループ活動 5%×9回=45% 個人作業 10%×3回=30% 理解チェックテスト 10%×2回=20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。 やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2019年度 後期	曜日・校時	火曜日 1・2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅱ総合B			
担当教員名	中村 桂子	e-mail	nenecha_n@yahoo.co.jp	
授業到達目標	テキストの内容を正確に理解した上で、一つの見方にとらわれない柔軟的な思考やその内容・構成が検討できるようになることを目指す。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
授業概要／各課に入る前の準備として内容に関連する質疑応答を行い、各課の最後には各自の意見を記述や口頭で発表し合う。				
第1週	10/1	プロローグ クリティカル・リーディングへの扉		
第2週	10/8	第1課 私のニュースの読み方		
第3週	10/15	第2課 価値の一樣性		
第4週	10/29	第3課 言葉の起源をもとめて		
第5週	11/5	第4課 経済学とは何か		
第6週	11/12	第5課 思いやり		
第7週	11/19	第6課 住まい方の思想		
第8週	11/26	第7課 決まった道はない。ただ行き先があるのみだ		
第9週	12/3	未定		
第10週	12/10	第8課 メディアがもたらす環境変容に関する意識調査		
第11週	12/17	第9課 改訂 介護概論		
第12週	1/7	第10課 ことばの構造、文化の構造		
第13週	1/14	第11課 観光で行きたい国はどこ		
第14週	1/21	第12課 化粧する脳		
第15週	1/28	チャレンジ クリティカル・リーディングを磨こう！		
第16週	2/4	未定		
教科書・教材等	奥田純子（監）2013『読む力（中上級）』くろしお出版			
成績評価の方法・基準等	<p>積極的な授業参加を重視する。</p> <p>授業参加度（出席・授業態度）50%、課題20%、提出物30%</p> <p>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。また、各課が終わった後に提出する課題は、その内容も評価の対象になります。</p>			
アクセシビリティ	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p><u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u></p> <p>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>			
備考（準備学習等）	<p>授業予定の本文を予習しておくことが前提。</p> <p>私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。</p> <p>やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。</p>			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級 I	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話が でき、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質 問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級 II	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話が でき、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現 が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級 I	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的 な話題について、簡単な会話が でき、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べる ことができる。	N3	B1
中級 II	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的 なことがら、 日常的な話題について、会話が でき、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示 しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級 I	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎とし て役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳 細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加え て、内容を補足できる。		
上級 II	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎とし ても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や 接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級 I (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級 II (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 I 総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 II 総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級 II 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新)